



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。町民と子どもたちのかかわりを中心に、子どもたちの生き生きとした様子をお伝えいたします。

しみず保育所

年長児交流で新しいお友達との出会い…♡

9月3日、年長児交流があり、保育所の5歳児と幼稚園の5歳児10名がしみず保育所に集まりました。まずは各クラスで自己紹介、初めて会う友達に目をキラキラさせていた子どもたちです。

その後3グループに分かれて、交流できるよう違うクラス、施設の友達とペアになり、ゲーム遊びを行いました。ボール運びゲーム、絵合わせゲーム、ドッジボールと、友達との協力が必要不可欠！声を掛け合ったり、息を合わせて、チームのために頑張ることで、少しずつ友達との距離が縮まり、笑顔も見られるようになりました♪話を聞く姿勢もかっこよく、さすが5歳児！です。

また会える日を楽しみに、最後は友達同士で手作りバッジを交換しました。終わった後「もっと新しい友達と遊びたかったな～」と話していた子どもたちです。



いつも以上に頑張る姿を見せる子どもたち

9月1日～4日は3歳以上児クラスが、9月9日～10日は未満児クラスの保育参観がありました。今回は新型コロナウイルス感染予防の為、保護者の方どちらかが参加する形を取らせていただきました。保育所での普段の様子を見ていただき、3歳児は「はながっぱ」になって、4歳児は「さんぽ」の曲に合わせてバルーンを、5歳児は旗と縄跳び、組体操の運動遊びを堂々と発表していました。



短い時間ではありましたが、お子様の成長を見ていただくことが出来たのではないかと思います。

御影こども園

参観日～お母さん、お父さんに生活の様子を見てもらいました



9月9日3歳以上児の参観日を行いました。例年ですと5月に行なっているのですが、コロナ禍のため秋の開催になりました。

案内がぎりぎりだったにもかかわらず、全児の保護者に参観いただきました。進級して約半年、いろいろな経験を重ね成長した子ども達の姿をご覧いただけたものと思います。

前日は動物園へのバス遠足でしたので、好きな動物の絵を描いたり、運動会で発表するはずだった運動遊びを見てもらいました。

参観後は短い時間でしたが、クラスで懇談会を行ない、運動会など行事の中止などで、例年よりも保護者の方と接する機会が少なく、意見交換の場も作れなかったため、今回お話を聞くことができて良かったです。また、こういう時期だからこそ、園の情報発信を大切に（紙媒体ばかりではなく、直接お話するなど含め）、園が保護者と子



育てについての共通理解を図っていかねばと改めて感じました。

清水幼稚園

不審者遭遇防犯教室

8月25日。新得警察署の防犯課のお巡りさんをお招きして防犯教室を行いました。

防災訓練として不審者が現れた時の注意や逃げ方を警察の方からお話を聞き、「いかのおすし」を確認し

ました。「いかのおすし」とは「**い**かない、**の**らない、**お**おきなこえをだす、**す**ぐにげる、**し**らせる」を合言葉にしたものです。



「いかのおすし」をばら組の園児と実際の場面を想定してロールプレインをしました。「道がわからないので一緒に来て教えて」と言われても絶対についていかないで、大声で素早く逃げる例。「家にゲームがあるので一緒に家に行って遊ぼう」と言われても断って「助けてー」と

素早く逃げる例。車で近づいて来て、知らないおじさんが「お母さんが病気だから車に乗って病院へ行こう」と言われても断って、車の進む方向と反対の方向へ逃げる例。知らない人が写真を撮り始めたら、素早くその場から離れる例。を



わかりやすい実演を交えながら説明してくださいました。その演技を全園児がドキドキしながら真剣に見ていました。最後に「助けてー」と大声で言うのは難しいものです。だから、防犯ブザーを持っていることが大切なことや不審者に遭わないためには、絶対一人では歩かないことを強く教えてくれました。新得警察署のみなさん、ありがとうございました。

教育実習生

8月24日から3週間、教育実習生が全クラスに入って子どもたちと活動しながら子ども理解に努めて実習を熱心に行いました。今年度は、1学期中も実習生が入る予定でしたがコロナ禍のために11月に変更したという経緯もあります。就職活動も同時に行っているということです。苦勞は多いと思いますが、ピンチをチャンスに変えて頑張ってもらいたいものです。



清水小学校

“まちたんけん”でお世話になりました



7月28日（火）、2年生の子どもたちが、生活科の町探検の学習で町内のお店などを訪問しました。訪問先は、「スーパーフクハラ」、「ジョバンニ」、「帯広信用金庫」、「石原薬局」、「辻屋精肉店」の5か所で、グループに分かれて訪問しました。子どもたちは、事前の学習でお店の人から聞いてくる質問をグループごとに考えました。訪問先では、

準備した質問に答えていただいたり、お店の中を見させていただいたりしながら、たくさんの新たな発見や気づきなどを持ち帰ってきました。それぞれのお店では、ご多用の中、子どもたちにていねいな対応をしていただき、とても充実した見学になりました。



御影小学校

お店の仕事について～フクハラ清水店の見学～

8月31日（月）、3年生がフクハラ清水店を見学させていただきました。

働く人の様子やお店の工夫、品物の流通などについて調べ、地域のお店が自分たちの生活を支えていることについて学習しました。

見学の前に子どもたちはグループごとに調べたいことやお店の方に質問したいことなどを考えて準備しました。お店に入ると、子どもたちは果物や野菜の値段を比較したり、チラシを見てお買い得品を探したり、商品の産地を調べたりしていました。店長さんへは、「店名の意味」「最も売れる食材」「働く人について」「売れるようにお店で工夫していること」「気を付けていること」など、たくさんの質問をし、一つ一つ丁寧に答えていただきました。見学後は、一人一人「報告文」としてまとめをし、学びを確かなものにしました。



ご多用の中、見学をさせていただいた店長様はじめ従業員の皆様に感謝申し上げます。

清水中学校

避難訓練&シェイクアウト～災害時の素早い行動を目指して

9月7日、大きな揺れ地震を感知後、理科室より火災が発生したことを想定した「避難訓練&シェイクアウト」を実施しました。2年前にブラックアウトを経験した道民として、再び来ることを想定した素早い



行動や対応が望まれます。地震の際は①ドロップ「姿勢を低く」し、②カバー「頭、体を守る」、③ホールドオン「揺れが収まるまでじっとする」を基本行動として速やかに避難しました。



清水消防署長から、まずは「自分の命を守る」行動をご指導いただきました。また、1年生は署員の方のサポートを受け、初めて救助袋を使って避難訓練を行いました。「緊張したけれど、上手くできました」と1年生。日本は地震や台風等が多い国です。「自

助、共助、公助」の考えを大切にしていきたいですね。

<書写ボランティアの皆様へ感謝！>

7月から実施された書写ボランティアの皆様からの指導が9月16日を最後に終了しました。全学級において国語科「書写」でのご指導をいただきました。1年生は「大木・平和」、2年生は「初志・開花」、3年生は「創造」を題材に一人一人に丁寧なアドバイスをいただきました。小学校から何度も指導をいただき、中学生になり更に一生懸命に取り組んでいます。ご指導いただいている山名さんから、小学校当時と比べて一層成長している様子を褒めていただきました。心を込めて取り組んだ作品は、ボランティアの皆様のご指導の賜物と深く感謝しております。誠にありがとうございました。



御影中学校

御中ぎゃらりい



生徒玄関を入ると正面に大きな2枚の絵が飾られており、その左側に「御中ぎゃらりい」が広がっています。

平成20年度より、彩西会、御影レンズクラブ、清龍会など、町内サークルの皆様のご協力により、絵画や書道、写真や篆刻の芸術作品が月替わりで展示されます。

2学期に入り、8月からは御影在住の池原良徳様による絵画作品展が開催されています。御中生は、美術館に行かずとも、様々な分野の芸術作品のよさや美しさを味わい、体験を通して感性を磨くことができます。毎回、作品の感想を生徒が記入し、作者の方へお届けしており、ご協力いただいている地域の方々



には、大人の発想を超えたイメージや感想が出てくることもあり、毎回感想を楽しみにしているとお声をいただきました。小さなやりとりですが芸術作品を通して地域の方々とのつながりを感じることができます。

◆編集後記

コロナ禍の中、保育所や学校では工夫しながら学びの機会の提供に努めています。このような時だからこそ子どもたちを地域や学校・家庭が連携・協働してしっかり見守っていくことが大切な時かもしれません。